

令和7年度

肢体不自由教育部門

高等部

第3学年

⑤学習グループ（総合ビジネス類型）

年間指導計画

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		論理国語			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 論理的に書いたり、批判的に読んだりするための基礎的な知識や技能を身に付ける。 (2) あるテーマについて、論理的に自分の考えを表現する。 (3) 自主的に自分の考えを表現しようとする姿勢を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		張替良太				
年間授業時数		70	2	単位時間		
使用教科書		新編 論理国語（大修館）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	自己を見つめて ・探究する力 ・補助線を引きながら考える	6	・筆者の問題意識を捉え、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深める。			・単元に入る前に漢字プリントで出てくる漢字の意味などを確認してから読解に入る。 ・比喩などの文章表現に着目して筆者の考えを読み取る。 ・対比構造など図示したり、グラフなどの資料を参照したりすることで、視覚的に筆者の主張を捉える。 ・主張、本論、結論の構成を意識して文章読解、論述に取り組めるようにする。 ・ワークシートを用いて、スモールステップで学習を進める。 ・タブレット端末を活用して資料を提示する。
5	思考を深める ・和の思想、間の文化 ・ミロのヴィーナス	14	・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論の展開の仕方や具体例の役割について考える。 ・論理の展開や比喩的な表現の意図をとらえる。			
6						
7	社会に向かって ・志望先への提出書類	6	・進路で必要とされる書類についての概要を知り、それぞれの目的をつかむ。 ・必要な情報を集め、それらを適切に結び付けて、相手の印象に残る志望理由書を書く。			
9	社会に向かって ・自己推薦書を書こう	6	・自分を客観的に見つめ、材料を膨らませて、説得力のある自己推薦書を書く。			
10	視点を変えて ・人類の進化から考える「心」の誕生 ・ロボットに心はあるか ・クオリアと心	7	・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・問題提起と答えの関係を的確に捉え、自分の考えをもつ。 ・具体例と主張の関係を捉え、自分の意見をもつ。 ・独特の概念や筆者の主張を的確にとらえ、自分の考えをもつ。			
11	問いを深めて書く ・問いを立てて書こう ・文章を読んで書こう ・統計資料を読んで書こう	14	・テーマをもとに問いを立てて小論文を書く。 ・抽象的なテーマから問いを立てる方法を身に付ける。 ・課題文から小論文で取りあげる論点を的確に見いだす。 ・課題文の主旨を的確に捉え、それに対する自分の主張を書く。 ・統計資料から小論文で取りあげる論点を的確に見出す。 ・統計資料のデータを適切に引用して自分の主張を書く。			
12						
1	現代を考える ・政治の本質 ・「である」と「する」こと	6	・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・発想の仕方や論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取る。 ・対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかむ。			
2	未来に目を向けて ・人口減少社会の到来 ・未来の地図帳 ・エネルギー耕作型文明への転換	11	・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 ・様々な資料を参照しながら文章を読み、筆者の考えを捉える。 ・本文中の数値や地図を的確に読み取り、筆者の主張をつかむ。 ・対比の役割に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもつ。 ・論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもつ。			
3	・豊かさにつながり					
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		国語演習B			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 小説、評論を中心に、様々な文章を決められた時間内に読解する力を伸ばす。 (2) 文章の主題や、筆者の主張について、自分なりの考えをもち、説明する力をもつ。 (3) 主体的に文章を読み、演習課題に取り組もうとする。				
担当教職員 *学校介護職員		小畑 圭輝				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	評論文の読解演習	24	段落と段落のつながり 対比・対立 言い換え・同義 接続詞の空欄補充 筆者の主張と具体例			・三色ボールペンを使用させ、文中の重要な箇所、接続詞が使われている箇所、内容が理解できなかった箇所に線を引くことができるようにし、文章を整理しながら読むことができるようにする。
5						
6						
7						
9	小説の読解演習	28	近現代の日本の文豪について 登場人物の心情の変化の描写の抜き出し 比喩表現の効果 物語の主題の読み取り			・空欄補充のワークシートを用意し、登場人物の心情の変化や分かる箇所や、物語のあらすじを整理することができるようにする。 ・適宜ICT機器等を使用し、作中に出てきた事件や道具等を確認することができるようにする。 ・複数の詩歌を読み比べることで、表現技法や比喩の効果への理解を深められるようにする。
10						
11						
12						
1	詩歌の読解演習	18	詩の技法や比喩表現 近現代を代表する歌人・俳人			
2						
3						
通年	漢字演習、四字熟語、ことわざ	—	漢字、四字熟語、ことわざ演習			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		地理探究			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解する。 (2) 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、多面的・多角的に考察する。 (3) 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。				
担当教職員 *学校介護職員		和田 菜摘				
年間授業時数		105 単位時間				
使用教科書		新詳地理探究（帝国書院）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	第1部 第1章 自然環境	10	序 地球環境と人間 1 地形			・衛星画像や模式図、分布図、景観写真など、様々な資料を活用する。 ・情報機器を積極的に活用しながら、正しい情報を読み解く力も身に付けられるように、検証する時間もとる。 ・気候については、模式図と分布図を対比しながら読み解く。 ・社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり活動したりする活動を取り入れる。 ・地理的技能を身に付け、活用することで考察する力が付くようにする。
5		10	2 気候 3 日本の自然環境 4 地球環境問題			
6	第2章 資源と産業	10	1 農林水産業 2 食料問題 3 エネルギー・鉱産資源			
7		10	4 資源・エネルギー問題 5 工業 6 第3次産業			
9	第3章 交通・通信と観光、貿易	10	1 交通・通信 2 観光 3 貿易と経済圏			
10	第4章 人口、村落・都市	10	1 人口 2 人口問題 3 村落と都市 4 都市・居住問題			
11	第5章 生活文化、民族・宗教	10	1 衣食住 2 民族・宗教と民族問題 3 国家の領域と領土問題			
12	第2部 第1章 現代世界の地域区分	10	1 地域区分			
1	第2章 現代世界の諸地域	10	1 中国 2 韓国 3 ASEAN諸地域 4 インド 5 西アジアと中央アジア 6 北アフリカとサハラ以南アフリカ			
2		10	7 EU諸国 8 ロシア 9 アメリカ合衆国 10 ラテンアメリカ 11 オーストラリアとニュージーランド			
3	第3部 第1章 持続可能な国土像の探究	5	1 将来の国土の在り方 2 持続可能な日本の国土像の探究			
通年		105				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		日本史探究			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察することができる。 (2) 我が国の伝統と文化の特色についての認識を深める。 (3) 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		橋口 拓未				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		高校日本史（山川）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 古代社会の形成 第2章 律令国家の形成	10	1 日本文化の始まり 2 農耕の開始 3 ヤマト政権と古墳 1 律令国家の成立 2 律令国家の繁栄 3 律令国家の変質			・考古学資料・『日本書紀』・『宋書』それぞれの信ぴょう性を吟味しながら、歴史的事実の迫る歴史学的手法を理解するとともに、自らも身近な資料をもとに考察する。 ・図表などの資料を活用し、その時代の特徴を総合的に考察し、理解できるようにする。 ・各種資料を分析し、時代ごとの政権の発展や対外関係について多面的に考察できるようにする。 ・身に付けてきた歴史的な思考力を文章で表現できるようにする。
5	第3章 貴族政治の展開 第Ⅱ部 中世 第4章 武家社会の形成	10	1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園の発達と武士の台頭 1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立と発展			
6	第5章 武家社会の成長	10	3 蒙古襲来と幕府の衰退 4 鎌倉文化 1 室町幕府の成立 2 下克上の社会			
7	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の成立	10	3 室町文化 4 戦国の動乱 1 織豊政権			
9	第7章 幕藩体制の展開	10	2 江戸幕府の成立 3 江戸初期の外交と文化 1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化			
10	第8章 幕藩体制の動揺	10	1 幕政の改革 2 江戸幕府の衰退 3 化政文化			
11	第Ⅳ部 近代・現代 第9章 近代国家の成立	10	1 開国と幕府の滅亡 2 明治維新 3 立憲国家の成立 4 大陸政策の展開 5 近代産業の発展 6 近代の文化			
12	第10章 二つの世界大戦と日本	10	1 第一次世界大戦と日本 2 政党政治と大衆文化 3 恐慌の時代 4 軍部の台頭 5 第二次世界大戦			
1	第11章 現代の世界と日本	9	1 占領下の改革と主権の回復 2 55年体制と高度経済成長 3 現代の情勢			
2	歴史の論述	8	歴史の転換期をまとめる			
3	歴史の論述	8	歴史の転換期をまとめる			
通年		105				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		世界史探究			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。 (2) 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察する。 (3) 歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		橋口 拓未				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		高校世界史（山川）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	第Ⅰ部 第1章 オリエントと地中海世界 第2章 アジア・アメリカの古代文明	10	1 古代オリエント世界 2 ギリシア世界 3 ローマ世界 1 インドの古典文明 2 東南アジアの諸文明 3 中国の古典文明 4 南北アメリカ文明			・日本と世界の歴史的つながりを考察することにより、世界史学習における異文化理解の重要性を探究できるようにする。 ・地理的特質と把握しながら、その土地の文明の盛衰、人々の活動を理解できるようにする。 ・地図や宗教遺跡などの写真を適切に活用しまとまれるようにする。 ・文章にまとめることで、理解を促せるようにする。 ・身に付けてきた歴史的な思考力を文章で表せるようにする。
5	第3章 内陸アジア世界・東アジア世界の形成	10	1 草原の遊牧民とオアシスの定住民 2 北方民族の活動と中国の分裂 3 東アジア文化圏の形成			
6	第Ⅱ部 第4章 イスラム世界の形成と発展 第5章 ヨーロッパの形成と発展	10	1 イスラム帝国の成立 2 発展 3 進展 4 文明の発展 1 西ヨーロッパ世界の成立 2 東ヨーロッパ世界の成立 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 4 西ヨーロッパの中世文化			
7	第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	10	1 トルコ化とイスラム化の進展 2 東アジア諸地域の自立化 3 モンゴルの大帝国			
9	第Ⅲ部 第7章 アジア諸地域の繁栄	10	1 東アジア世界の動向 2 清代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 インド・東アジア世界の展開			
10	第8章 近世ヨーロッパ世界の形成 9章 近世ヨーロッパ世界の展開	10	1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ主権国家体制の形成 1 重商主義と啓蒙専制主義 2 海外進出 3 17～18世紀の文化			
11	第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第11章 欧米における近代国家の発展	10	1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命 1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米の文化			
12	第12章 アジア諸地域の動揺 第Ⅳ部 第13章 帝国主義とアジアの民族運動	10	1 西アジアの変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動 1 帝国主義と列強 2 世界分割 3 アジア諸国の改革			
1	第14章 二つの世界大戦	9	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦			
2	第15章 冷戦と第三世界の独立	8	1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2 冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り 4 石油危機と世界経済の再編			
3	第16章 現在の世界	8	1 社会主義世界の変容とグローバル化 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3 深刻化する貧困と地域紛争の激化 4 現代文明の諸相			
通年		105				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	数学演習B			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい	(1) 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 (2) 事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・名瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	長嶺 亜矢子				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
4	数学史	5	古代文明と数学 ギリシャから中世		・既習事項を振り返り、生徒の理解度を確認しながら学習を進める。 ・具体的な事象や身近な題材を取り扱うことで、イメージしやすくする。 ・定理や公式の暗記に陥らず、成り立ちやその活用に重点を置く。 ・ICT機器を用いることで、視覚的に気付きやすくするとともに、ノートテイクなどの負担を軽減し、思考の時間を十分に取る。
5		5	近世・近代 江戸時代の数学、算術、算額		
6	円周率 π の成り立ち	6	円と円周率、円周長と面積 π の歴史 円周率を求める		
7	三平方の定理の証明	4	ピタゴラスとその学派 様々な証明		
9	測量	5	三角比 $\sin\theta$, $\cos\theta$, $\tan\theta$ 三角比の活用 正弦定理と余弦定理 校舎の高さの測定 スカイツリーの高さの測定 考察・発表		
10		4			
11		4			
12		5			
1	黄金比	4	建物や美術作品の中に見られる黄金比と2次方程式の関係との関係を調べる。		
2	フィボナッチ数列	4	フィボナッチ数列と自然との関わりを調べる。		
3	生活の中の数学	4	身近な生活の中に潜む、数学的疑問について考える。		
通年	演習	20	各単元で必要となる基礎事項の確認・演習		

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		化学基礎			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術についての理解を深める。 (2) 観察, 実験などを行い, 科学的に探究する力を養う。 (3) 自然の現象に主体的に関わり科学的に探究しようとする態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		加藤 宏大				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		新編 化学基礎 (数研出版)				
月	単元 (題材) 名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	物質の構成	7	混合物と純物質、物質の三態と熱運動			・映像や模型などを使い、化学変化のイメージをもちやすくする。 ・実験や観察を多く取り入れることで、興味・関心を高め、体験をしながら学習に取り組めるようにする。 ・日常生活と化学のつながりについて、扱うようにし、学習意欲を高める。
5	物質の構成粒子	8	原子とその構造、イオン、元素の周期表			
6	粒子の結合	12	イオン結合とイオンからなる物質 分子と共有結合、共有結合の結晶 金属結合と金属			
7						
9	物質の変化	15	原子量・分子量・式量 物質質量 溶液の濃度 化学反応式と物質質量			
10						
11	酸と塩基の反応	14	酸・塩基 水の電離と水溶液のpH 中和反応と塩 中和滴定			
12						
1	酸化還元反応	10	酸化と還元 酸化剤と還元剤 金属の酸化還元反応 酸化還元反応の利用			
2						
3	化学が拓く未来	4	物質の特徴や化学変化と暮らしを支える技術とのつながり			
通年		70				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		生物基礎			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 中学校で学習した内容を基礎として、日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高める。 (2) 観察、実験などを通して、生物学的に探究する能力と態度を育てる。 (3) 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
担当教職員 *学校介護職員		栞沢 法男				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		高等学校 生物基礎（新興出版社啓林館）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	生物の特徴	16	○オリエンテーション ○生物の特徴 ○生物の共通性 ○生体とATP ○呼吸 ○生物の多様性 ○細胞の特徴 ○酵素の働き ○光合成			・新しい知見を視覚的にも理解しやすくするため、オンデマンド動画を活用する。 ・動画視聴後には出題をして、理解度を高める。 ・中学校で学習した内容を振り返る時間を設けることで、生物や生物現象への関心を高め、学習に意欲的に取り組めるようにする。 ・学期末に定期考査を実施することで、知識の定着を図る。 ・観察・実験の活動を可能な限り入れ、観察・実験を行うために必要な技能を高め、科学的に探究するための基礎的な資質・能力を身に付ける。
5						
6	遺伝子とその働き	16	○生物と遺伝子 ○DNAの複製と分配 ○タンパク質と遺伝情報 ○遺伝子と私たち ○DNAの構造 ○タンパク質 ○細胞の分化と遺伝子			
7						
9	神経系と内分泌系による調節	8	○体内環境 ○内分泌系による情報伝達 ○人体図鑑 ○神経系による情報伝達 ○血統濃度の調節			
10	免疫	6	○免疫のしくみ ○免疫とさまざまな疾患 ○免疫の応用 ○体内環境と私たち			
11	植生と遷移	8	○身のまわりの植生 ○さまざまな植物の環境への適応 ○遷移とバイオーム ○植生の遷移			
12						
1	生態系とその保全	16	○生態系における生物の多様性 ○生態系における生物間の関係 ○生態系と人為的攪乱 ○生態系の保全 ○生態系と私たち			
2						
3						
通年		70				

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		保健体育（体育）			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) オリンピックやパラリンピックに関連付けながらスポーツや身体活動への意欲や関心を高めていく。 (2) 個々の実態に応じた課題やルール設定を行うとともに、話し合いの場面を設定する。 (3) 目的に向けた主体的な過程を称賛し、身体活動の楽しさを実感させ生涯スポーツへの意識を高める				
担当教職員 *学校介護職員		梅沢蓉子 米川慧				
年間授業時数		105 単位時間				
使用教科書		新高等保健体育（大修館書店）				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	体づくり運動	6	柔軟ストレッチ運動、ラジオ体操や選択した曲で競技に合った体操の創作を行う。			・様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。 ・体育祭に向けての見通しがもてるように自身が出場する種目や日程の確認を行う。 ・自身の記録の変化が分かるようにする。 ・泳法の学習では、それぞれの泳法の特徴を学習し理解してから実技を行うようにする。 ・安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。 ・仲間と戦略を立てるように促す。試合終了後に得点や戦術について確認を行う。 ・チームで話し合う時間を設ける。試合では、フェアプレーやスポーツマンシップにのっとったプレーを意識させる。
5	陸上競技 体育祭種目練習	14	陸上競技についての知識を深め興味や関心がある種目を選び、記録を計測する。体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。			
6						
7	水泳	8	泳法の学習やリラクゼーションを行う。			
9						
10	球技「ボッチャ」	8	投球方法やルールの確認、試合の中で実践的に戦略を立てる。			
11	ダンス	8	テーマをに合わせた楽曲を選択し、振り付けを覚え、発表する。			
12	球技「テニス」・「卓球」	12	打撃練習や試合を通して、ボールの動きに合わせた体幹や上肢の使い方を学習する。			
1						
2	球技「ハンドサッカー」	14	ルールの理解や試合の中で実践的な動きを行う。チームで作戦を立てる。			
3						
通年	体づくり運動	35	自己のねらいに応じた実生活に生かす運動の計画と実践			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		外国語演習B			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 4技能を伸ばす。 (2) できるだけ日本語を介さず、英語を英語のまま理解することができる。 (3) 卒業後も職場や身近なところで活かすことができるように、自ら実生活と結び付けて考えることができる。				
担当教職員 *学校介護職員		渡邊 沙綾				
年間授業時数		70 単位時間				
使用教科書		VISTA Logic and Expression II (三省堂)				
月	単元(題材) 名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	Lesson 1 [Guess Who?] Lesson 2 [Space Travel] 「天気」に関する表現	5	質問する / 描写する / 時制(現在形・過去形など) 希望・願望を表す / 提案する / 不定詞 さまざまな天気の表現方法 よくわかるライティング			・文法事項の基礎事項を改めて見直し、間違えて理解していたことや見落としがないかを確認する。 ・英作文は短文の和文英訳から始め、数行のまとまった文章を書けるようになるまで少しずつ量を増やしていく。 ・英検のリスニング教材を使用し、実際の音声を感じ取る。また、聞き取ることのできる語数を増やす。
5	Activity Lesson 1	5				
6	Lesson 3 [Where Is the Post Office?] Lesson4 [Wonderful World]	6	場所・行き方をたずねる / 位置・方向を示す / 前置詞 具体的に説明を加える / 受動態			
7		4				
9	「空港」での表現 Activity Lesson 2 Lesson 5 [Job Search] Lesson 6 [New Type Robots!]	5	入国審査での会話 よくわかるスピーチ 図表を説明する / 勧める / 動名詞 / 比較 誘う / 能力を表す / 助動詞① (canなど)			
10		4				
11	「ホテル・旅行案内所・美術館など」での表現 Activity Lesson 3 Lesson 7 [Enjoy Japanese Foods] Lesson 8 [Looking for an Apartment]	4	予約や受付などの表現 よくわかるプレゼンテーション 数量を表す / 順序・経過を表す / 分類 部屋の配置 / 対比する / 形容詞 / 副詞			
12		5				
1	Special Activity 1 Lesson 9 [Ideas from Nature] Lesson 10 [Let's Learn about SDGs!] Special Activity 2	4	違いを見つける① 名称を表す / 理由を述べる / that節 / 関係副詞 出典・引用を示す / 関係代名詞 / 助動詞② (shouldなど) 違いを見つける②			
2		4				
3	Activity Lesson 4 Activity Lesson 5 まとめ・総合	4	よくわかるディスカッション よくわかるディベート 1年間に学習した内容の確認・復習			
通年	リスニング・補強問題	20	英検やweb上のリスニング教材を使用して行う。			

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		産業社会と人間			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 共生社会を構築する人材としての、社会生活や職業生活に必要な基本的能力や態度及び望ましい勤労観、職業観を育成する。 (2) 我が国の産業の発展とそれがもたらした社会の変化について考察する。 (3) 将来の生き方や進路について考え、その実現に向けた計画を作成する。				
担当教職員 *学校介護職員		渡邊 沙綾				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	課題の把握と目標設定	3	自らの長所、短所、適性などを探求することで、自らを知り、目標を立て、取り組みへのモチベーションを高める。			・社会生活に起こりうる場面を、生徒や教員によるロールプレイで実施し、生徒にとってより分かりやすい指導にしていく。 ・新聞やインターネット上の記事を用いて、身近な話題として捉えられるようにする。 ・生徒が学習を振り返りやすいよう、プリント学習を取り入れる。 ・必要に応じてタブレット端末等のＩＣＴ機器を使用し、個に応じて効果的な学習方法を選択できるようにする。
5	社会生活と情報①	2	新聞記事やネット記事などを比較して、正しい情報の得方について考える。			
6	社会生活の基礎①	2	社会生活を営む上で必要となる、基本的なルールやマナー、コミュニケーションスキルを身に付ける。			
7	社会生活の基礎②	2	健康な生活を営む上での基礎を知る。			
9	社会生活の基礎③	2	良好な対人関係・人間関係を築く方法を知る			
10	共生社会の実現	3	共生社会の実現に向けた課題について考える。			
11	社会と暮らし	2	消費活動や余暇活動などの日常生活について考える。			
12	社会資源の活用	2	在住区の福祉サービス、身近なサービス等について知り、その活用を考える。			
1	主権者教育	2	選挙権獲得と選挙権行使について考える。			
2	消費者教育	2	消費者を取り巻く諸課題について考え、消費生活に関する知識を習得し、適切な行動に結び付けることができる実践的な能力を育む。			
3	自己の在り方と生き方	2	自分の将来像、生きる意義などを考え、社会に出る決意を作る。			
通年	社会生活と情報②	11	時事ニュースを新聞記事やネット記事などで比較して、正しい情報の得方を知り、自らの考えをまとめ、発表する。			

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	職業実習			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい	(1) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付ける。 (2) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (3) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 奈穂美 渡邊 沙綾				
年間授業時数	70 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
通年	プrintの丁合・封筒詰め、 配布などの校内受注作業 事務補助作業 ビジネスマナー、コミュニケーション	70	プrintの丁合・封筒詰め レターボックスへのPrint類の配布など シュレッダー作業・古紙の分別 PC（ワード、エクセル）を用いた資料作成の手順と技法 ビジネスマナーの学習と実践 対面や文面でのコミュニケーション		・できることを増やす視点をもちながらも、 自らできないことを見極めて、支援を求めら れるように適宜助言する。 ・作業の効率化を考えさせることで、業務改 善を図る意識をもたせる。 ・「産業社会と人間」と連携し、学んだビジ ネスマナーや適切なコミュニケーションを実 践の場で使えるように適宜助言する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		総合的な探究の時間			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や先生と協力して行う。 (2) 行事の事前学習を通して自分の課題を見付け、課題解決に向けて生徒同士で関わる経験を重ねる。 (3) 進路学習を通して課題を見付け、自己の在り方や生き方を考える。				
担当教職員 *学校介護職員		渡邊沙綾				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい			指導上の工夫
4	高等部3学年の生活について	4	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部3学年の生活を知り、学年目標や係活動を決める。			話し合う場をできるだけ設けることで、他者との関係性を学ぶ機会を作る。
5	ビジネスマナー	4	○職場体験学習に向け、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆場に応じた言葉遣いや態度を知り、実践する。			ロールプレイで用いて、場面に応じての言葉遣いやマナーを体験する。
6	進路学習①	2	○実習先について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。 ○進路壮行会			ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。
7		2	◆自分の進路選択に向けた取り組みを考えたり、友達の取り組みを知ったりすることで、進路に向けた意識を高める			
9	進路学習②	4	○身近な人の進路体験を聞く。 ◆教職員などの進路体験を聞き、進路に対する実感をもつ。			ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。
10	墨東祭事前学習	4	○墨東祭での発表内容を考える。 ◆墨東祭準備を教員や友達と協力して活動する。			集団の中での自己の存在や役割を意識できるように、友達と関わる活動を取り入れる。
11	進路学習③	4	○進路実習報告会 ◆自分や友達の進路への取り組みを振り返ることで、卒業後の社会参加への期待感を高める。			ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。
12		3				
1	季節の活動	3	○新年の気持ちをもち、目標を立てる。 ○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ○正月遊び ○豆まき			教材に直接触れ、体験することで、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
2		3	◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。			
3	3年間のまとめ 卒業するにあたって	2	○高等部の3年間で学んだことをまとめる。 ◆まとめたことを発表し、卒業に向けての決意を作る。			ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。
通年						

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名	特別活動			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	渡邊沙綾				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	指導上の工夫	
4	高等部3学年の生活について 新入生歓迎会	4	○高3の一年間の予定確認。 ◆高等部3学年の一年間の生活を知る。 ○新入生歓迎会のメッセージや出し物を考え練習する ◆新入生を迎える準備をし、上級生としての意識をもつ	ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。	
5	レクリエーション	4	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。	意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。	
6	体育祭に向けて	2	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。	応援ぐグッズを作成するなどして、練習の段階から本番の雰囲気味わえるようにする。	
7	体育祭事後学習	2	○競技の様子を映像で振り返る ◆それぞれの活動について評価、反省をする。	ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返ることができるようにする。	
9	伝統文化に触れよう	4	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。	教材だけでなく、衣装や背景を活用し、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。	
10	レクリエーション	4	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。	意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。	
11	墨東祭に向けて	4	○発表内容についての話し合い・役割決め、練習を行う。 ◆役割をもって、仲間と協力して行事を成功させる。	自分の役割を意識できるように、準備の係活動を設定する。	
12	墨東祭事後学習	3	○舞台発表を映像で振り返る ◆それぞれの発表について評価、反省をする。	ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返ることができるようにする。	
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。	写真や演説の音声を利用して、「選ぶ」「投票する」ことを主体的に行えるようにする。	
2	1年間の振り返り	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。	ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返ることができるようにする。	
3	卒業に向けて	2	○卒業に向けての準備 ◆卒業式練習	社会へ出る意識作りに重点を置きながら、3年間の振り返り、卒業制作、卒業式練習を行う。	
通年					

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	準ずる教育課程
教科等名		自立活動			学習グループ名	高⑤
目標・ねらい		(1) 運動・動作の維持と改善や、関節の拘縮や変形を予防、筋力の維持・強化する方法を知る。 (2) 障害による学習上または生活上の困難を主体的に改善・克服する (3) 生徒が障害の状態や発達の段階に応じて、主体的に自己の力を可能な限り発揮し、よりよく生きていこうとする。				
担当教職員 *学校介護職員		郭 雅文 高橋 奈穂美 渡邊 沙綾 齋藤 篤彦 佐伯 かおり				
年間授業時数		35 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名		指導時数	主な学習内容		指導上の工夫
通年	自立活動		70	セルフストレッチ・筋力トレーニング・リラクゼーション 座位、膝立ち、立位の取り組み バランスボールやトランポリンを使った活動 手指の操作性・巧緻性を高める活動 車いす（電動車いすを含む）の操作技術の向上、並びに安全に運行するための知識の取得		 ・生徒自身が主体的に身体に取り組むために、体調などを確認する中で、生徒と教員間で取り組むべきメニューを相談して決定していく。 ・車いすの取り組みでは、校内並びに学校周辺の歩道などを活用することで、様々な環境下での走行を体験する。